



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	33,800.60	297.03	0.89	1.95	10.44	30,606.48
NASDAQ	13,900.19	70.88	0.51	3.12	7.85	12,888.28
日経225	29,768.06	59.08	0.20	-0.29	8.47	27,444.17
上海総合	3,450.68	-31.88	-0.92	-0.97	-0.64	3,473.07
滬深300 (CSI300)	5,035.34	-76.87	-1.50	-2.45	-3.38	5,211.29
ハンセン	28,698.80	-309.27	-1.07	-0.83	5.39	27,231.13
中国企業	10,977.37	-132.11	-1.19	-2.14	2.23	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.8%安と反落、上海総合指数は1.0%安

香港市場は清明節とイースターの連休で3日間の取引。ハンセン指数は3日間で0.8%安と反落した。5連休明けの7日は中国の金融引き締めに対する警戒感が重しとなったが、8日はFOMC議事要旨で金融緩和の長期化が改めて確認されたことを好感して反発。9日は米中対立激化に対する警戒感から売りが広がった。本土市場では4日間の取引で上海総合指数が1.0%安と3週ぶりに反落。不動産市場の過熱を受けて金融引き締めが警戒されたほか、米中対立激化への警戒からリスク回避の売りが広がった。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、16日に中国のGDP成長率など発表

香港市場は上値の重い展開か。米長期金利の上昇一服や好調なNY市場は追い風だが、米中対立の激化や中国当局によるプラットフォーム企業への締め付け強化が懸念材料。16日には中国のGDP成長率など主要経済指標が発表されるが、市場予想を上回る強い内容になると逆に引き締め懸念が相場の重しとなる可能性がある。今後本格化する1-3月期決算の発表にも注目が集まる。本土市場も米中対立の激化が懸念されるなか、主要経済指標の発表を控えて引き締め強化への警戒感から上値の重い展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 パドワイザーAPAC(01876)	24.60	4.90
2 中国生物製薬(01177)	8.10	4.38
3 創科実業(00669)	139.00	3.35
4 万洲国際(00288)	6.92	3.28
5 AIAグループ(01299)	97.80	3.06
6 HSBC(00005)	46.55	2.65
7 申洲国際集団(02313)	167.10	2.33
8 ハンセン銀行(00011)	153.70	1.99
9 恒隆地産(00101)	20.80	1.96
10 中国中信(00267)	7.49	1.63

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 海底撈国際(06862)	49.35	-9.62
2 サンス・チャイナ(01928)	37.10	-5.24
3 テンセント(00700)	620.50	-5.12
4 美团(03690)	314.00	-3.62
5 阿里健康(00241)	22.35	-3.46
6 アリババ集団(09988)	218.00	-3.37
7 葉明生物技術(02269)	102.00	-2.95
8 小米集団(01810)	25.70	-2.84
9 中国平安保険(02318)	91.20	-2.67
10 シパック(00386)	4.06	-2.64

▼今週の主なイベント

- 4月13日(火)
- 【中国】貿易統計(3月)
- 4月16日(金)
- 【中国】GDP、固定資産投資(1-3月)、小売売上高、鉱工業生産(3月)

▼今週の期待材料

- ◆NY市場でダウ平均が過去最高値を更新するなど好調を維持、米10年債利回りも上昇が一服
- ◆IMFが21年の中国のGDP成長率予想を8.3%に上方修正、前回1月発表の見通しから0.3ポイント引き上げ
- ◆企業の1-3月期決算の発表がスタート、昨年のコロナの反動で大幅増益や黒字転換の企業が相次ぐ公算

▼今週の懸念材料

- ◆中国国家統計局が16日に主要経済指標を発表、予想以上に強い内容なら引き締め懸念が高まる可能性も
- ◆米商務省が中国のスパコン関連の7社・団体を禁輸リストに追加、米中対立激化に警戒感強まる
- ◆中国規制当局が独禁法違反でアリババ集団に約182億円の罰金、プラットフォーム企業への締め付け強化

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国海外発展 (00688) : 3月の不動産販売額が45%増加、販売面積は26%増
- ☆ Qテクノロジー (01478) : 3月のカメラモジュール出荷量が10%増、前月比は13%増
- ☆ 中国中車 (01766) : 21年1-3月期決算は70-100%増益の見通し
- ☆ 舜宇光学科技 (02382) : 3月の携帯端末用レンズセット出荷量が15%増加
- ☆ 遠洋集団 (03377) : 3月の不動産販売額が22%増加、販売面積は33%増
- ☆ 波司登国際 (03998) : 21年3月本決算は40%増益の見通し、売上高は10-15%増
- ☆ ビリビリ (09626) : ハンセンテック指数や中国企業指数に15日付で新規採用
- ☆ 百度 (09888) : ハンセンテック指数や中国企業指数などに9日付で新規採用
- ☆ アリババ集団 (09988) : 中国当局が独禁法違反で巨額罰金、悪材料出尽くしへ
- ★ テンセント (00700) : 中国当局が独禁法運用を強化、次の罰金ターゲットの可能性も

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。